

令和7年度進行管理・評価シート
長浜歴史的風致維持向上計画（令和2年8月26日認定）
（最終変更 令和7年3月13日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 都市計画課と文化観光課の連携及び 長浜市歴史まちづくり協議会の開催	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観条例・屋外広告物条例の施行状況	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 山蔵保存修理事業	3
2 大通寺伽藍群保存修理事業	4
3 黒壁ガラス館本館耐震改修事業	5
4 歴史的建造物保存活用事業 伝統的街並み景観形成事業	6
5 屋外広告物修景顕彰事業	7
6 伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業	8
7 豊公園再整備事業	9
8 木之本宿道路整備事業	10
9 長浜曳山祭保存伝承事業	11
10 きもの文化を活用したまちづくり事業	12
11 ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業	13
12 木之本宿まちなか再生事業	14
13 北国街道木之本宿にぎわい創出事業	15
14 観音の里ふるさとまつり開催事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査	17
2 文化財の保存・修理等	18
3 文化財の防災	19
4 埋蔵文化財の取扱い	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 ・本日へ高まる熱気 長浜で「登り山」「夕渡り」 ・伝統と革新 着物文化を発信 他	21 22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 市民を対象としたアンケート結果	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況

都市計画課と文化観光課の連携及び長浜市歴史まちづくり協議会の開催	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------------------	---

計画に記載している内容 長浜市歴史まちづくり協議会を中心としながら、認定計画の推進を図る。また、都市計画課と文化観光課が主体となり、連携を図りながら認定計画の実施・推進に向けた協議、連絡調整を行うこととする。

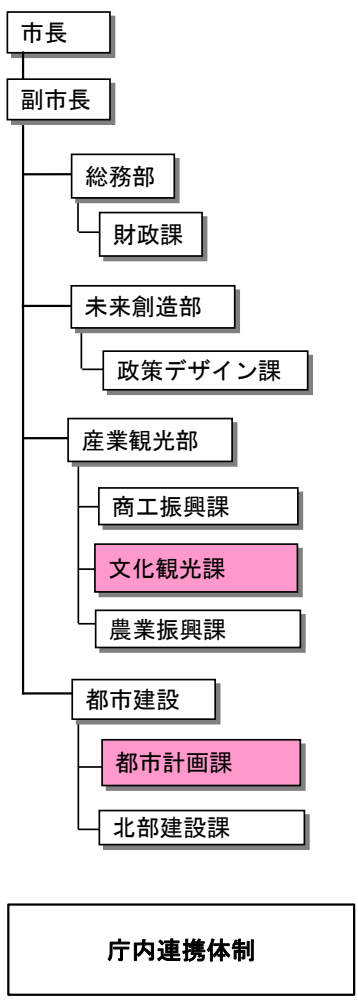
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化観光課と都市計画課が協議・連携して事業の推進を図っている。また、事業の進捗状況等について、法定協議会である長浜市歴史まちづくり協議会を開催し、協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 計画を推進していく上で、都市計画課と文化観光課を中心に、関係各課との連携、調整に努める。
---	--

状況を示す写真や資料等



○第24回長浜市歴史まちづくり協議会
 開催時期: 令和8年2月12日(木)
 開催方法: 長浜市役所 特別会議室



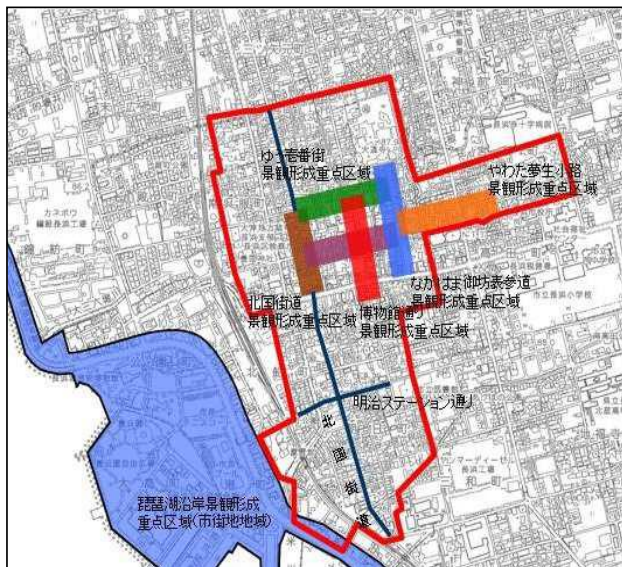
第24回長浜市歴史まちづくり協議会の様子

評価軸②-1

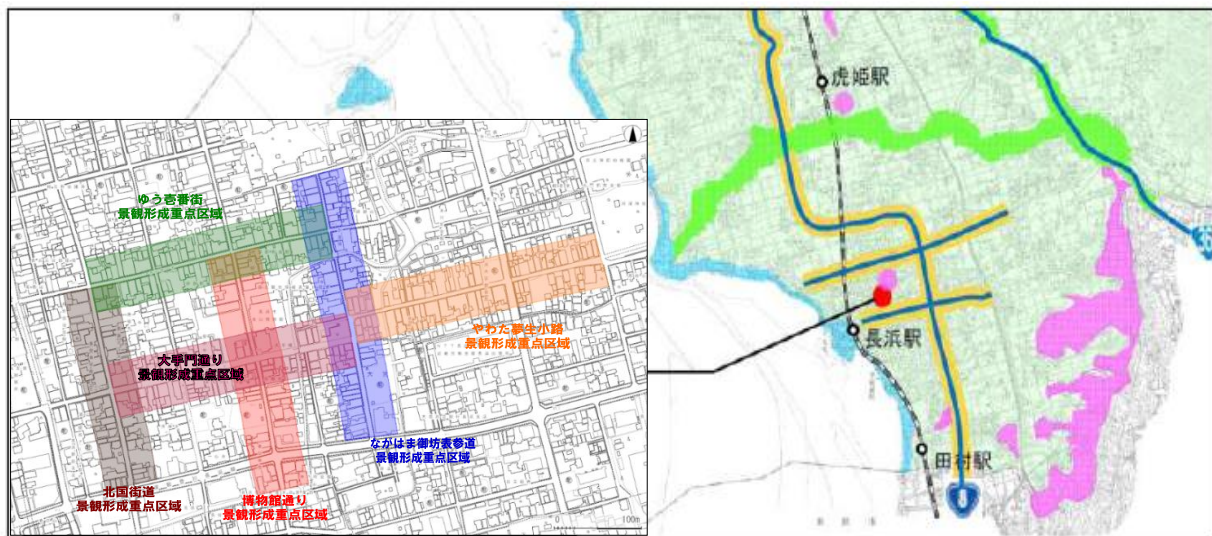
重点区域における良好な景観を形成する施策

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
景観条例・屋外広告物条例の施行状況		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	本計画の重点区域に、景観の重点区域を指定し、周辺の町並み景観と調和した建築行為等が行われるよう、規制誘導を行っている。また屋外広告物については、平成24年度から市条例を施行し、より質の高い屋外広告物によって魅力的な町並み景観が創出されるよう、良好な屋外広告物の規制誘導に努めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本計画の重点区域内において、良好な景観形成を図るため、長浜市景観条例及び長浜市屋外広告物条例に基づき、審査指導を行った。 令和7年度 景観法に基づく届出件数 4件(R7.11.30時点) 令和7年度 屋外広告物許可件数 0件(R7.11.30時点)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観形成を進めていくため、引き続き制度の趣旨や目的を周知し、住民等の意識向上を図っていく。		

状況を示す写真や資料等



歴史的風致維持向上計画の重点区域及び景観の重点区域



屋外広告物の規制地域概要図

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況

山蔵保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------	---

事業期間 平成22年度～令和11年度

支援事業名 県文化財保存事業費補助金/市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物に指定した13の山蔵について、損傷した壁面や扉、雨樋などの破損状況に応じ、保存修理が必要になったものについて、順次保存修理を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度修理実績 3件(諫鼓山・春日山・翁山)
 ※過去の修理実績 平成22年度～平成30年度:7件 令和元年度～令和6年度:2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、計画的な修理や調査を実施し山蔵の保存修理を進める。
--	--------------------------------

状況を示す写真や資料等



長浜曳山祭 諫鼓山山蔵(漆喰の剥落修繕)



施工中
(漆喰掻き落とし状況)



施工後



長浜曳山祭 春日山山蔵(土間修繕)



施工中(土間解体状況)



施工後(土間三和土仕上げ)



長浜曳山祭 翁山山蔵(樋修繕等)



施工前(樋取り替え前)



施工後(樋取り替え後)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況

黒壁ガラス館本館耐震改修事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和2年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成27年度～令和3年度

計画に記載している内容 明治33年に旧第三十銀行長浜支店として建築された黒壁ガラス館本館は、老朽化により、内外壁のひび割れや床面の傾きなどが生じており、来館者の安全性が確保できないため、建築物の長寿命化と耐震の改修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年12月から耐震改修工事に着手し、令和3年3月に工事が完了した。
 【工事概要】外壁の内側に荒壁パネル(補強パネル)を取り付けるとともに、柱と梁の接合部に耐震リングを設置した。
 その他改修工事:屋根葺き替え、内外部塗装改修、金庫室レンガ撤去、空調改修等を実施した。

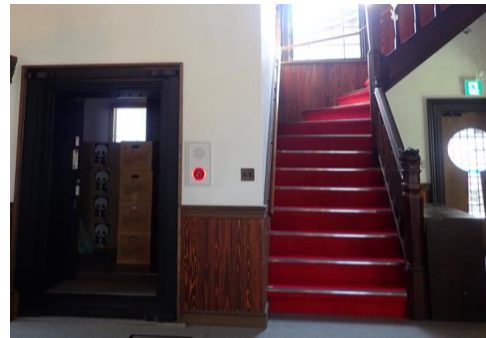
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

歴史的建造物として国の登録有形文化財に登録(平成8年)されており、建築物内外観の意匠を変えることなく、耐震補強、外壁の塗り直し、瓦の一部葺き替えなどの長寿命化を図った。

状況を示す写真や資料等



金庫室の劣化したレンガを撤去し、柱や壁を改修。



館内の漆喰部塗装改修等。



外観の漆喰部塗装改修。

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成20年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域である長浜城下町区域及び北国街道木之本宿内にある歴史的建築物を保存活用する際や伝統的な街並み景観の維持形成に配慮して町家、店舗、住宅等を改修する際に、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的な街並み景観の維持・向上に努めることにより、まちの魅力向上を図った。 令和7年度の採択件数: 2件 ※平成20年度～令和6年度の改修実績: 64件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度から「まちなか出店支援事業」として、遊休不動産を店舗として活用する事業に対して補助金を交付するものに制度変更しており、空き町家の維持活用を後押ししている。さらに令和6年度からは、活用する遊休不動産が町家である場合は補助金を加算することにより、町家の活用を促進している。		
状況を示す写真や資料等			

改修前

改修後

遊休化した不動産を改修し飲食店と宿泊施設として再活用した(ながはま御坊表参道)。



遊休化した不動産を改修し飲食店として再活用した(ゆうぎ番街)。



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
屋外広告物修景顕彰事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市屋外広告物条例及び市景観まちづくり計画に基づき、景観まちづくりを推進するため、屋外広告物の修景を行うとともに、優れた屋外広告物を顕彰する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成24年度から令和3年度までの10年間、長浜市景観広告の公募・審査・選定・表彰にかかる事業を実施した。取り組みの成果を市民に周知するため、令和4年に「長浜景観広告賞まち歩きマップ」を作成した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

長浜景観広告賞選定実績

平成24年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成25年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成26年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成27年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成28年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成29年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 平成30年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 令和元年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞3点
 令和2年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点
 令和3年度 : 景観広告大賞1点 景観広告賞4点

総選定数: 景観広告大賞10点 景観広告賞39点 合計49点
 HP <https://www.city.nagahama.lg.jp/0000010963.html>



令和4年度作成 長浜景観広告賞まち歩きマップ



平成24年度大賞 小山仁商店



平成27年大賞 JR長浜駅



平成28年大賞 株式会社浜湖月

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況

伝統的建造物群保存地区選定調査検討事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域において、伝統的建造物群保存地区の決定に向け、建造物の調査及び保存対策を実施するとともに保存区域について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度～令和3年度:伝統的建造物24棟(主屋11棟、土蔵7棟、その他6棟)の調査を実施した。
 令和5年度:伝統的建造物保存地区について、地域住民と協議する検討部会を開催した。
 令和6年度:重伝建地区先進地視察(福井県南越前町今庄宿)を実施した。
 令和7年度:地元住民に町並みの活用状況、重伝建への意見ヒアリングを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

定期的に地元住民との協議を行っているほか、重伝建地区の先進地視察を開催し、町並み保存の機運醸成を図っている。
 地区内住民の高齢化及び空き家の増加が課題となっている。空き家について現状を把握するとともに、他地域からの移住を促進するなどの取り組みが必要である。

状況を示す写真や資料等

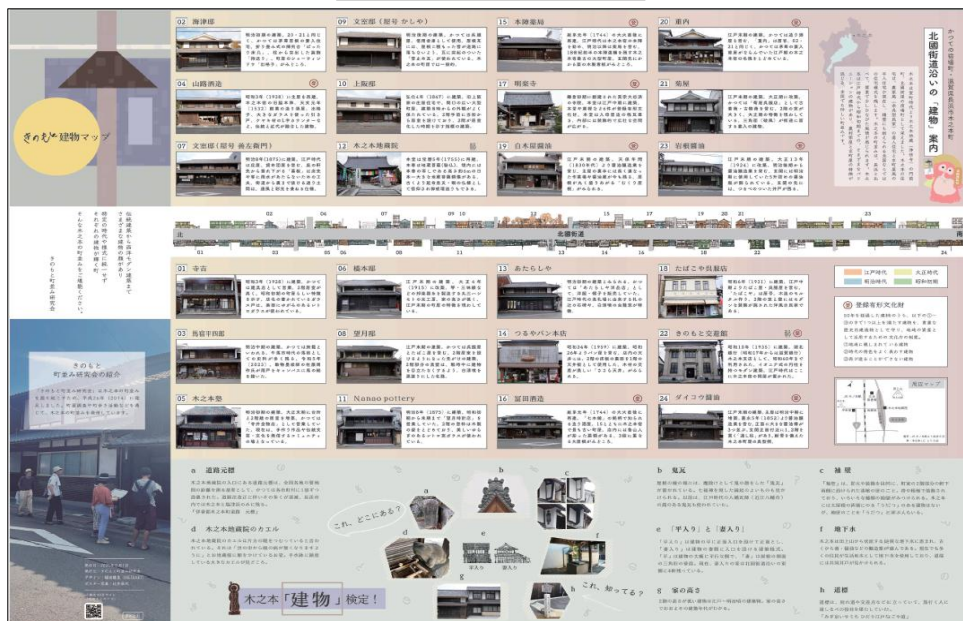
「きのもと町並み研究会」は、北国街道の宿場町として栄えた木之本の歴史的な景観を守り、次世代へつなぐために活動している住民団体である。
 長浜市の「歴史まちづくり計画」策定を契機に、地元住民が中心となって結成し、木之本の町並みの価値を再発見し、伝統的建造物の保存や活用に対する意識を高めることを目指し、活動している。



○令和7年度に制作したパンフレット

- ・木之本暮らしの伝言板
- ・きのもと建物マップ

・きのもと建物マップ



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	現在の状況

豊公園再整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和8年度～令和11年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(魅力ある都市公園づくり) 令和8年度～令和11年度、市単独事業

計画に記載している内容 公園施設の老朽化が著しく、史跡の活用も十分なされていないことから、史跡指定範囲内における史跡の活用を検討し、公園の再整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

JR長浜駅から長浜城歴史博物館までの園路および園路南側の雑壇の整備が完了した。
令和7年度は、国スポ・障スポの主要会場としてビーチバレーボール特設会場の整備(仮設)ほかの整備を行った。
令和8年度からは、公園再生事業を再開、継続する予定である。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

長浜市の「社会資本総合整備計画」に基づき、国の社会資本整備総合交付金によって、長浜城歴史博物館周辺の緑豊かな環境を活かしつつ、地域交流の場の整備を引き続き継続していく。

状況を示す写真や資料等

公園町南信号の公園入口から長浜城歴史博物館までの園路旧児童遊園、園路の路面等を整備した



第79回国民スポーツ大会開催風景



豊公園整備計画平面図

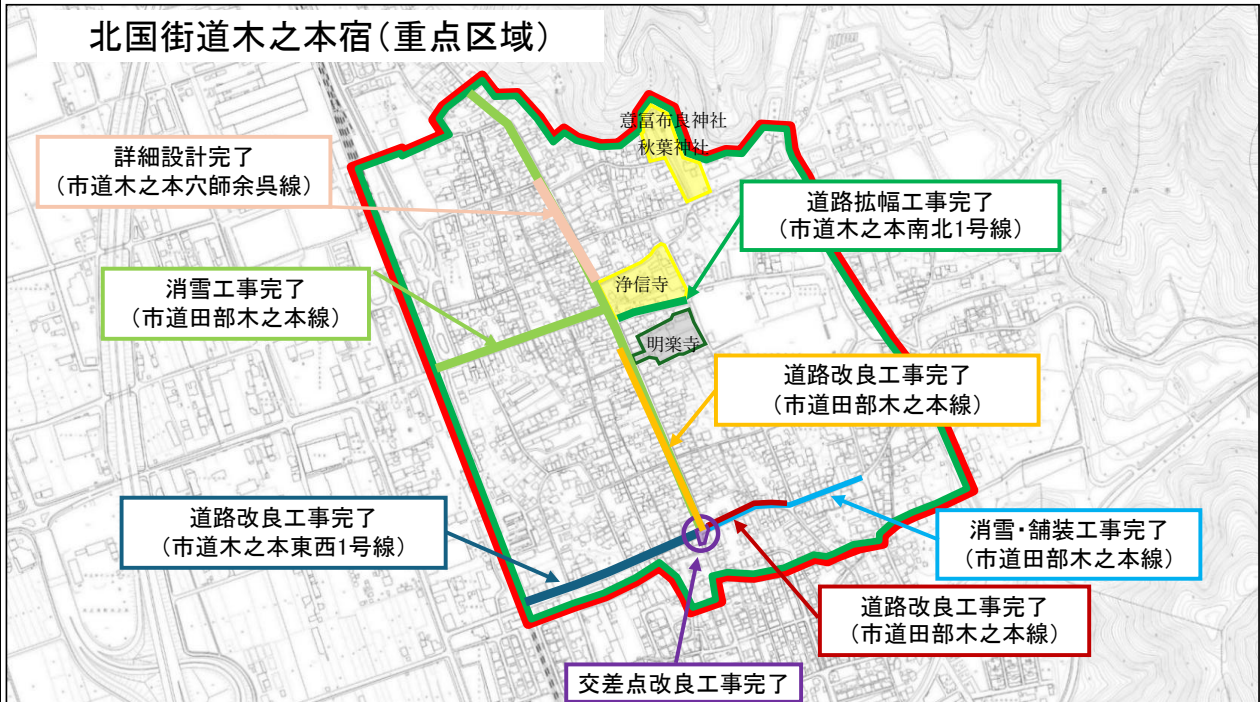
評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)			現在の状況
木之本宿道路整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和9年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(まちなかウォークアブル推進事業) 令和5年度～令和9年度、市単独事業		
計画に記載している内容	伝統的な建造物が数多く残る北国街道木之本宿区域を縦貫し、地域住民の生活空間となっている国道303号及び市道木之本穴師余呉線において、歴史的な町並みに調和した道路の美化、路側帯の設置等を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
北国街道明楽寺前から浄信寺北側、浄信寺から西に駅に向かう国道303号の消雪設備の設置が完了し、引き続き道路の美装化工事を進める。			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市道木之本穴師余呉線(木之本地蔵の北路線)の工事の施工方法について検討している。昼間通行止め、夜間片側交互通行により地元の理解を得て実施する。

状況を示す写真や資料等



市道田部木之本線

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)			現在の状況
長浜曳山祭保存伝承事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	長浜曳山祭を保存伝承するための取組(三役修業塾、囃子保存会、伝承委員会等)を支援するとともに、保存伝承に必要な仕組みを整備・支援する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 【三役修業塾】 稽古日 太夫・三味線部門:週2～3回、振付部門:月2回～4回
 塾生数 延べ24人(太夫・三味線15人、振付9人)※重複2人
 活動実績 ・ながはま歌舞伎発表会(11/30文化芸術会館)
 ・塾生の派遣(岐阜県垂井町、滋賀県長浜市・米原市)、塾生の交流(兵庫県多可町)
- 【囃子保存会】 稽古日 各山組にて週1回土曜or日曜
 稽古者数 約250人
 活動実績 ・曳山博物館ナイトミュージアムでの演奏
 ・長浜市立西中学校「伝統文化学習講座」、長浜小学校「長浜再発見・囃子クラブ」へ講師派遣
 ・長浜まちなか地域づくり連合会「こどもDeまんなかひろば」へ講師派遣
 ・曳山祭ながはま歌舞伎(文化芸術会館)、鍛冶屋太閤踊りでの演奏
 ・豊公まつりでの演奏、北近江豊臣博覧会での演奏
- 【伝承委員会】 ・長浜西中学伝統文化教室 4回(曳山生き物探し、博物館見学、籤取式・裸参り体験、蒔絵体験)
 ・西中新2年生による長浜曳山まつりガイドの支援(毎年4月)
 ・若い衆が曳山まつりの未来を議論する「未来塾」の開催
 ・曳山博物館「秋の曳山巡行」の企画委員会の支援

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

長浜曳山まつり推進会議内に部会を設置し、活動の活性化を図る。また、学校(長浜市立西中学校等)と連携しながら、学生向けの曳山まつりガイド事業、体験ワークショップを推進していく。三役修業塾については、後継者の発掘と育成を目指す。育成途中で地元を離れるなど活動継続が今後の課題となる。また、公演だけでなく、稽古や三役の活動過程を積極的に地元及び他地域で公開していく。

状況を示す写真や資料等



ながはま歌舞伎(文化芸術会館)



ながはま歌舞伎での囃子演奏



三役修業塾 体験ワークショップ



西中文化教室(曳山生き物探し)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
きもの文化を活用したまちづくり事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大通寺を会場とした催事を開催して来街を促すことにより、門前町のにぎわいを創出して良好な市街地環境を形成するとともに、建造物の価値を再認識することにより良好な維持管理に資する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和7年度は令和6年度に引き続き、着物をテーマとしたイベントとして「長浜 kimono AWARDS(きものアワード)」を実施した。 ○開催日時:10月13日(月・祝) ○事業内容:①着物ファッションショーコンテスト 豊公園雁木広場にランウェイとステージを設営し、学生による独創的な着物のショーを実施。YOSHIKI氏が特別審査員として参加。出場校8校26チーム、35体の出展 またステージイベント及び市内和装業者によるイベント連携 ②長浜カルチャー講座 中心市街地一帯を会場として、着物姿で参加する16の様々な講座を開講 84名が参加 ③きものDEまるしえ 豊公園内でキッチンカーやテントなどのグルメ出店34店舗			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	着物の似合うまち・長浜を目指しながら、柔軟な開催体系を検討する中、令和7年度は令和6年度に引き続き服飾デザイン系の学生による着物ファッションショーコンテストを主体としたイベントを実施した。今回の事業結果を踏まえ、次年度以降も継続を検討する。		
状況を示す写真や資料等			

長浜kimono AWARDS(当日の様子)



着物ファッションショーコンテスト①



着物ファッションショーコンテスト②



着物ファッションショーコンテスト③



カルチャー講座①



カルチャー講座②



きものDEまるしえ

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
ふるさと夏まつり「地蔵縁日」開催事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	湖北の名刹・浄信寺で1年に1度催される木之本地蔵大菩薩の大縁日にあわせて、門前の北国街道及び地蔵坂でふるさと夏まつり「地蔵縁日」を継続的に開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大縁日に合わせ、露店出店及び花火大会の開催を行った。事業に取り組むことで、宿場町の賑わいを創出するとともに、宿場町の伝統的な町並みに触れる機会を提供し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。 [開催概要]露店等の出店:8月22日(金)～25日(月) 9:00～21:30(初日17:00～)、花火大会:8月25日(月) 20:00～20:30 [実績等]期間中入込客数11万人(推計)、出店数108店舗、煙火800発			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	混雑時の雑踏事故や花火打上時の路上駐車等が懸念されることから、事業継続のために、より安全に配慮した事業となるように見直しを進める。		

状況を示す写真や資料等

大縁日の様子(門前の地蔵坂の賑わい、浄信寺及びきのもと交遊館のライトアップ等)



木之本大花火大会(8/25)

安全確保に向けた交通規制及び警備員の配置



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況

木之本宿まちなか再生事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 令和2年度～令和11年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 景観形成重点区域にも指定され、歴史的建造物が多く現存する木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、空き家や空き店舗の利活用の実態調査や利活用のコンサルティング、移住相談窓口、古民家見学ツアーなどに取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

空き家や空き店舗の利活用の賃貸及び売買等希望件数 6件
移住・定住相談窓口 6件 成約件数 2件 (※R7.12現在)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

空き家・空き店舗の調査・利活用件数がピーク時から減少傾向にある。空き屋利活用イベントやチャレンジショップなどを行い、空き家活用の取組に関して周知を図る。

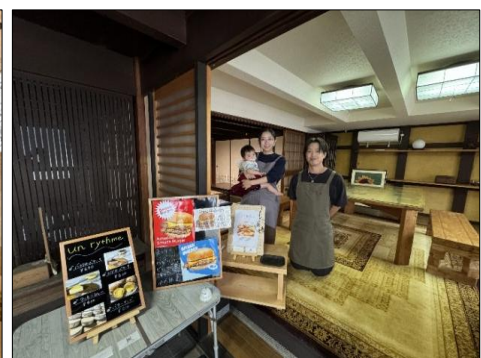
状況を示す写真や資料等



空家活用相談所



空き家活用イベント 木之本すむすむ体験 WEEK



チャレンジショップ(短期的空き家・空き店舗等利活用事業)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
北国街道木之本宿にぎわい創出事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	景観形成重点区域にも指定され、歴史的建造物が多く現存する木之本宿において、往時の賑わいを取り戻すため、北国街道沿いでのおきのもと宿街道まつりや、登録有形文化財であるきのもと交遊館での企画展示、飛鳥時代の創建と伝わる歴史ある意富布良神社での夕涼み横丁などに取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
宿場町や門前町としての歴史的な町並みや醸造業等の伝統産業、伝統行事などの魅力を活かしたイベントを行うことで、宿場町の賑わいを創出するとともに、宿場町の伝統的な町並みに触れる機会を提供し、地域の歴史や伝統を学び直す機会を作った。 [主な事業]きのもと交遊館企画展示、津軽三味線ライブ、ジャパンコーヒーフェスティバル、きのもと秋のほんまつりほか			
進捗状況	※計画年次との対応		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
		イベントの開催による短期的な効果を出すのではなく、街並みや歴史を生かしたイベントを企画し、街の魅力を引き出すことで、より継続的なにぎわいの創出を図る。	

状況を示す写真や資料等



胡弓と箏の演奏



お香・茶道体験



水のジャパンコーヒーフェスティバル2025 in木之本



交遊館展示(わたしのくらすまち写真展)

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		評価対象年度	令和7年度
		現在の状況	
観音の里ふるさとまつり開催事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和11年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	高月地域の観音様を拝観する催事を開催することにより、これらの観音様を守り伝えてきた先人の心と美しい観音像を後世に継承する意識の向上を図ることができる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
第41回観音の里ふるさとまつりを開催した。地域内外への観音文化の周知や、地域の方々との交流の機会を作ることができた。 開催日: 令和7年10月19日/事業内容: 周遊バス・巡回バスの運行、門前市、デジタルスタンプラリー、こどもラリー等 入込客数: 16,000人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		観光誘客だけでなく地元住民に観音文化への興味を喚起し、事業継続のために地域での交流や文化の継承が図れるよう事業を進めていく。	

状況を示す写真や資料等



ふるさとまつりポスター・各種チラシ



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況

文化財の調査

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 市内に分布する文化財について調査を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

長浜曳山祭の曳山事前調査:常磐山(鷓鴣彫刻・曳綱)、諫鼓山(諫鼓鶏彫刻・舞台障子)、鳳凰山(幟先矛・龍頭彫刻・見送幕吊紐)、長刀山山蔵宮司の春祭り(宮川祭)の道具類事前調査:修理要望のあった宮司の春祭り(宮川祭)で使用する道具類(挟み箱、衣装等)の調査を実施した。
 鍛冶屋太閤踊りの衣装事前調査:修理要望のあった鍛冶屋太閤踊りで使用する道具類(ハンマ)の調査を実施した。
 七条の春まつりの衣装事前調査:修理要望のあった七条の春まつりで使用する衣装(狩衣、指貫袴)の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

引き続き、指定文化財の適切な保存修理に向けて調査を行っていく。

状況を示す写真や資料等



宮川祭の道具類調査(挟み箱等)



鍛冶屋太閤踊りの道具類調査(ハンマ)



長刀山山蔵 現状調査

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
	長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	現在の状況
文化財の保存・修理等		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 適切な保存が図られるよう計画的に指定等文化財の修理等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【建造物防災施設(2件)】①国宝宝厳寺唐門等防災施設整備②国宝都久夫須麻神社本殿防災施設整備

【民俗文化財保存修理(3件)】

- ①長浜曳山祭保存修理: 青海山懸装品(胴幕類)、翁山懸装品(毛槍・幟竿)、常磐山曳山(引出梯子・舵棒受台)、高砂山曳山(高欄)、諫鼓山曳山(車輪・車軸)、孔雀山曳山(鬼板・鳥衾)
- ②富田人形保存修理: 人形首(検非違使)、男の足(本足)1対
- ③宮川祭の曳山(颯々館)保存修理: 曳山屋根修理、幟竿復元新調

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

長浜曳山祭行事・曳山保存専門委員会や長浜市文化財保護審議会などの専門家の指導のもと、順調に保存修理事業を進めている。引き続き文化財の適正な保存管理のため、定期的なメンテナンス等は欠かせない。ただし、公的支援があったとしても、所有者が個人や任意団体の場合、費用を負担し続けていくことは難しく、今後の資金調達が課題である。

状況を示す写真や資料等



長浜曳山祭翁山(毛槍) 修理監理



長浜曳山祭常磐山(引出梯子) 修理監理



長浜曳山祭高砂山(高欄) 修理監理



長浜曳山祭諫鼓山(車輪) 修理監理



長浜曳山祭青海山(胴幕) 修理監理



宮川祭の曳山(颯々館)(幟竿) 修理監理

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況

文化財の防災

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財の火災被害を少なくするため、自動火災報知設備及び消火器具の設置及び更新を図る。さらに、広く防災意識を高揚するため、所有者、管理者、地域住民及び消防署が一体となった防火訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに伴い、湖北地域消防本部の管轄する市内3消防署(長浜消防署・東浅井消防署・伊香消防署)の主催で、第72回文化財防火運動を実施。防火訓練・防火査察を通して、地域消防団や消防署の初動体制を再度確認するとともに、地域住民の文化財愛護思想の高揚を図る。

防火訓練: 令和8年1月18日 赤後寺 防火査察: 29箇所

なお、文化財防火デーに先んじて、令和7年7月22日には、竹生島にて東浅井消防署主催で防火訓練が実施された。

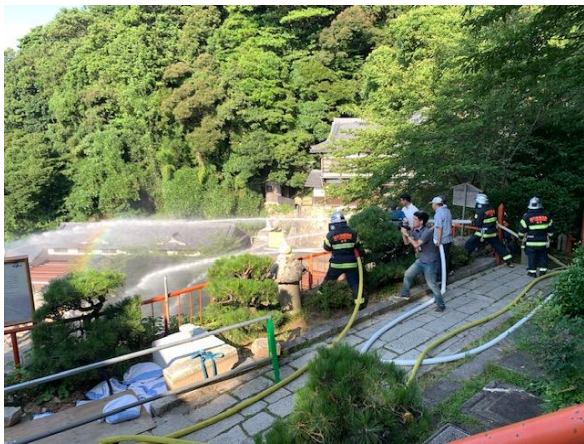
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

文化財に関わる所有者等によって、文化財防災に対する意識に差がある。将来に承継すべき貴重な財産である文化財を火災や地震などから守るため、引き続き災害発生時の防災体制や消防設備の整備、自衛消防訓練の実施の呼びかけを行っていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



令和7年7月22日 消防訓練(竹生島)

令和8年1月18日 消防訓練(唐川赤後寺)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)		現在の状況

埋蔵文化財の取扱い

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 埋蔵文化財の保護について、関係各課と連携を図り、開発行為等の情報を共有している。また事業者と事前協議を行い、必要に応じて試掘調査を行うなど開発行為と文化財保護との調整を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

関係機関と連携を図り、必要に応じて埋蔵文化財の試掘調査や本掘調査を実施した。
 発掘届出数(166)、立会調査件数(9)、試掘調査件数(26)、本掘調査件数(6)
 令和6年度:立会調査5件、試掘調査25件、本掘調査2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

民間開発に伴う発掘調査は、調査時期や頻度が定まらないため、調査を実施するにあたり、臨機応変な対応が求められる。

状況を示す写真や資料等



高田氏館遺跡第10次調査 遺構完掘状況



神照寺坊遺跡第104次調査 遺構完掘状況

評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	年月日	掲載紙等
威勢良い掛け声で神輿渡御	R7.4.13	中日新聞
子ども歌舞伎 縦横無尽	R7.4.16	毎日新聞
子ども歌舞伎 熱演に歓声	R7.4.14	京都新聞
「ふるさと夏まつり」始まる	R7.8.23	中日新聞
湖北の秋 観音様に会おう	R7.10.1	読売新聞
13日 長浜きものアワード	R7.10.11	中日新聞
「秋の曳山巡行」8基進む	R7.10.12	中日新聞
独創の着物 若者が披露	R7.10.14	京都新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◎長浜曳山祭:長浜曳山祭の神輿渡御。神輿が長浜八幡宮から御旅所まで練り歩き、曳山祭の盛り上がり伝えた。
- ◎長浜曳山祭:曳山祭開催。狸丸、鳳凰山、壽山、高砂山による子ども歌舞伎の熱演に、観光客の歓声が大きく響いた。
- ◎長浜曳山祭:曳山祭本日。長浜八幡宮で子ども役者による歌舞伎が奉納され、素晴らしい演技を観光客に伝えた。
- ◎ふるさと夏まつり:木之本町で、ふるさと夏まつり、木之本地蔵縁日と花火大会が開催。多くの人でにぎわいを見た。
- ◎観音の里ふるさとまつり:「観音の里」として知られる湖北地域の観音の里ふるさとまつりの開催を広く呼びかけた。
- ◎長浜kimono AWARDS:着物のファッションショーの開催に向けて、学生ランウェイの一般投票を募集。開催への盛り上がり伝えた。
- ◎曳山交代式:出番山が収蔵庫から長浜の城下町を巡行。観光客を楽しませた。
- ◎長浜kimono AWARDS:豊公園で着物のファッションショーを開催。ゲストも登場し、華やいだ雰囲気を醸成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○本日を前に高まる熱気 長浜曳山祭の「登り山」と「夕渡り」【中日新聞 令和7年4月15日】

【内容】 URL : <https://www.chunichi.co.jp/article/1053365>

4月14日に開催される長浜曳山祭の「登り山」と「夕渡り」についての記事。

子ども役者を載せた曳山が、四番山から順に長浜八幡宮の境内に集まる4月14日の「登り山」と、長浜八幡宮から曳山博物館まで子ども役者が若衆に付き添われ顔見せをする「夕渡り」が行われ、曳山祭の熱気を高めた。

【参考】



○伝統と革新、着物文化を発信 長浜でファッションイベント【中日新聞 令和7年10月14日】

【内容】 URL : <https://www.chunichi.co.jp/article/1148213>

伝統と現代が紡ぐ、これまでとまったく違うきものイベント「長浜 kimono AWARDS」の開催記事。

10月13日、長浜市豊公園ステージでの学生による着物のファッションショーでは、伝統と革新を融合させた着物が次々と披露され、有名ミュージシャンによるゲストも登場し、会場を盛り上げた。

【参考】



評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

	評価対象年度	令和7年度
長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)	年月日	掲載紙等
豊臣兄弟！ 長浜と中継 魅力発信	R8.1.27	中日新聞
盆梅と庭園ライトアップ きょうから	R8.1.31	中日新聞
「豊臣兄弟！」活躍の舞台間近 長浜で博覧会	R8.2.2	京都新聞
「北近江豊臣博」開幕 直とあさひも祝った	R8.2.2	中日新聞
「豊臣博覧会」来場1万人達成	R8.2.21	中日新聞
4月の長浜曳山祭「子ども歌舞伎」外題と三役決まる	R8.2.21	中日新聞
北近江豊臣博覧会 3地域巡り、戦国攻略を	R8.2.28	中日新聞
盆梅展入館 11%増	R8.3.29	京都新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◎北近江豊臣博覧会: NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送に伴い、東京日本橋と中継で長浜市の歴史や魅力を発信した。
- ◎長浜盆梅展: 慶雲館(重点区域内の国指定名勝)を会場として、盆梅展及び庭園のライトアップが始まることを伝えた。
- ◎北近江豊臣博覧会: NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機に長浜市内全域で開催される観光事業「北近江豊臣博覧会」(主催:北近江豊臣博覧会実行委員会)の開幕について伝えた。
- ◎北近江豊臣博覧会: 「北近江豊臣博覧会」のオープニングセレモニーに出演俳優も参加し、開幕を盛り上げた。
- ◎北近江豊臣博覧会: 「北近江豊臣博覧会」について、来場者が1万人を達成したことを伝えた。
- ◎長浜曳山祭: 令和8年4月の曳山祭について、子ども役者による歌舞伎の外題と三役が決まったことを伝えた。
- ◎北近江豊臣博覧会: 「北近江豊臣博覧会」について、3地域(会場)ゆかりの史跡巡りを紹介した。
- ◎長浜盆梅展: 慶雲館(重点区域内の国指定名勝)で開催の盆梅展について、前年より観光客等の来場者が増加したことを伝えた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○「長浜盆梅展」が開幕 3年ぶりに逆像楽しむ特別展示も【中日新聞 令和8年1月10日】

【内容】 URL : <https://www.chunichi.co.jp/article/1191232>

長浜の新春の風物詩「長浜盆梅展」が10日、長浜市港町の慶雲館で始まったことについての記事。花の咲き具合を見て、鉢を入れ替えながら、100年単位の歳月を刻んだ90鉢程度を常時展示。1952(昭和27)年に始まり75回目となり、歴史、規模から「日本一の盆梅展」として来場者を楽しませた。

【参考】



○北近江豊臣博覧会が長浜で開幕 白石聖さんと倉沢杏菜さんが彩りを添える【中日新聞 令和8年2月2日】

【内容】 URL : <https://www.chunichi.co.jp/article/1202678>

NHKの大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機に長浜市内全域で開催される観光事業「北近江豊臣博覧会」(主催:北近江豊臣博覧会実行委員会)が今月1日から開幕した。12月20日までの323日間、豊臣秀吉・秀長兄弟も駆け抜けた歴史が各地に色濃く残る同市内での様々な取り組みに注目が集まっている。

【参考】



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度

令和7年度

長浜歴史的風致維持向上計画(令和2年8月26日認定)

市民を対象としたアンケート結果

市民にとって長浜は貴重な歴史や伝統が残された町であると強く認識されており、歴史的・文化的資源に磨きをかける取り組みを強力に推進することで、その個性や魅力を高めることにつながっていく。市民の歴史・文化に対する愛着心を深めることができるとともに、交流人口の拡大や観光振興など多方面に及ぶ効果も期待され、さらには地域経済の活性化も期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

令和7年度市民意識調査の結果では、「長浜市の良いところ」、「愛着誇りを感じる場所」は、どのようなことですか」という問いに対して、「歴史と伝統があるまち」を選択する人が全体の2番目に多く、46.2%となっている。また、施策別の評価については「伝統・歴史・文化の継承」が満足度2位となり、「美しい景観の保全と創出」が4位となった。今後も市民の歴史・伝統、景観の保全に対する意識の高さを保つためにも歴史的風致の維持向上に取り組んでいく必要がある。「伝統・歴史・文化の継承」や「美しい景観の保全と継承」に対する長浜市民の意識の高さに応えるために「歴史まちづくり計画」の意義や成果についての情報発信に努めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

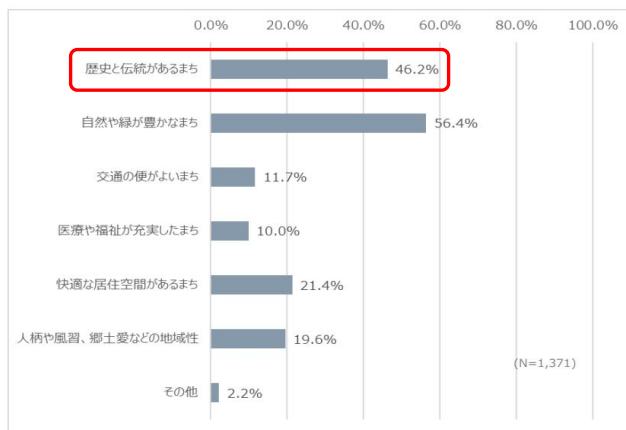
■計画の進捗に影響あり
□計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

(6) 長浜市の「良いところ」、「愛着・誇りを感じる場所」

問6 あなたが思う長浜市の「良いところ」、「愛着や誇りを感じる場所」は、どのようなことですか。次の中から選んでください。(2つまで 可)

○「自然や緑が豊かなまち」が56.4%、「歴史と伝統があるまち」が46.2%であり、次いで「快適な居住空間があるまち」が21.4%、「人柄や風習、郷土愛などの地域性」が19.6%であった。



調査期間

令和7年5月1日～5月15日

調査対象者

18歳以上の長浜市民

調査配布数

4,000件

有効回答数

1,371件

有効回収率

34.3%

②施策別の評価

○満足度については、多くの施策で「どちらともいえない」が多かったが、下記は「まあまあ満足している」以上の上位15位の施策となっている。

No	政策	施策	満足度
1-5	市民・自治	自治会の維持や地域の見守り活動	47.1
4-8	産業・交流	伝統・歴史・文化の継承	43.8
3-12	健康・福祉	健診などを通じた個人の健康づくりの推進	42.7
4-9	産業・交流	美しい景観の保全と創出	38.7
1-1	市民・自治	人権を尊重する社会づくり	37.4
5-2	安心・安全	交通安全対策	37.1
6-5	環境・都市	緑の確保と公園の整備	35.5
2-2	教育・文化	学校での教育環境の充実	35.4
2-8	教育・文化	文化芸術に触れる機会	35.1
1-2	市民・自治	女性も男性も共に参加する社会づくり	35.0
3-5	健康・福祉	母子保健と子どもの医療サービス	34.6
3-2	健康・福祉	子どもを育てる環境や保育機能の充実	32.7
2-3	教育・文化	地域と学校が連携した教育環境づくり	32.5
3-3	健康・福祉	子どもが遊んだり、体験する機会づくり	32.4
4-12	産業・交流	地域が持つ魅力の発信と観光振興	31.7

評価対象年度	令和7年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 長浜市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時： 令和8年2月12日(木)13時30分～	
<p>(コメントの概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働部生涯学習課文化財保護室が、産業観光部文化観光課歴史まちづくり室に改組され、文化財の保護だけでなく、活用も含めて進めるべく組織改編されたことは、市が歴史文化にどう向き合っているのかという姿勢を表しており、評価する。 ・歴史的建築物保存活用事業・伝統的街並み景観形成事業について、改修前、改修後の状況や内容を建造物改修の記録として残しておくことは重要であり、評価シートの作成にあたって関係課の協力を得て、充実を図ってほしい。 ・事業期間が長期にわたる歴史まちづくり計画の特性から、各年度進行管理・評価シートは、過年度分の資料についても精査を行いつつ、時点修正が必要な場合は、担当課の協力を得てアップデートしていくことが大切である。 ・市の北部を特徴づける重点区域として北国街道木之本宿区域については、歴史まちづくり計画の事業期間内に一定の成果が上がるように関係者の理解、協力を得て進展することを期待する。そのためには、委員から出された意見を含め、協議会としての空気を事業担当者に正確に伝えることが重要である。 ・長浜市には無形民俗文化財保存活用協議会があり、ユニークな活動をしている。協議会の存在自体が一つの特徴である。伝統文化親子教室ほか親子で参加できる事業の支援など、有形と無形の両面から伝統文化を活かしたまちづくりに力を入れ、引っ張ってほしい。 ・事業の追加について計画に載せることが技術的には可能か、事務局として確認するが、無形文化を今後どうやって盛り上げていくか、少子化による担い手がいないという大きな課題について、どうアプローチしていくのかなど大きなテーマである。これらを歴史まちづくり計画にどのように乗せていくかというところからの議論が必要と考える。 	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織改編により、文化財の保護と活用をあわせて進めていく体制が整ったことを踏まえ、これまでの取組を活かしながら、関係課との連携や情報共有を図る。 ・評価シート作成にあたっては関係課と連携し、写真や図面、工法などの情報を適切に整理・蓄積することで、事業効果の検証や今後の修理に活かせる資料として充実を図る。 また、市民への説明責任の観点からも、分かりやすい記録づくりに取り組む。 ・計画の適切な運用において、評価シートについては過年度の内容も含めて確認し、必要に応じて時点修正を行っていくよう努める。 担当課との連携を図りながら、記載内容の整合性や正確性を高め、事業の進捗や成果が分かりやすく反映される資料として充実を図っていく。 ・協議会の意見は要点を整理して共有し、事業担当者が対応しやすい形で伝達することで、円滑な事業推進に繋げる。 ・無形民俗文化財保存活用協議会の取組を活かし、地域の魅力を高めるとともに、文化の担い手育成にも繋げていくことや、無形民俗文化財の継承や担い手不足への対応については、今後の重要な課題として、関係者との意見交換を重ねながら、継承に向けた取組の方向性の議論等を検討していく。 	